

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信



初夏を迎え～さくら公園～

『穴山の里施設長に就任して』



いわなみ てるあき
岩波 輝明

障害者支援施設 穴山の里 施設長

本年4月から障害者支援施設「穴山の里」の施設長として勤めさせていただくことになりました、岩波輝明と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は平成27年3月まで山梨県職員として勤務し、農政、商工等の産業振興や教育などの県行政に携わってまいりました。また、その後本年3月まで、山梨県体育協会において、スポーツの振興や体育施設の管理業務などに従事してまいりました。こうした経歴から、産業振興や教育行政については、幾ばくかの知識を持っているつもりですが、福祉の世界は未体験の分野ですので、当初、「穴山の里」での業務が果たして勤まるのか、利用者をはじめ関係の皆様にご迷惑をお掛けするのではないかと心配していたところ、今回ご紹介をいただいた方から、「何にでも初めはある。60の手習いだと思って頑張れし！」とのお言葉をいただき、その言葉に背を押され、「これもご縁をいただいたもの」との思いで当地にやってまいりました。このような訳で、今後、福祉や障害者支援について腰を据えて勉強していく決意ですが、関係の皆様にはご迷惑をお掛けすることがあろうかと思えます。是非こんな身上に免じてお許しいただければ幸いです。

さて、今回お話をいただき、当施設が障害者の皆さんの施設だと伺った時、平成24年、県教育委員会勤務の際、県立高等支援学校桃花台学園の開設準備に関わらせていただいたことが思い出されました。障害を持つ生徒さんたちの自立した生活、特に生産活動など卒業後の職業生活を支援するために、どのようなコースやカリキュラムを設定するのか、また地元のご支援をいただくため、学校の地域性をどのように打ち出していくのかなどについて研究を深め、議論を重ねたものでした。現在、「穴山の里」に勤務してみると、地域生活への移行に向け、障害者一人一人の能力や特性に応じた自立支援が障害者支援の要諦であることを実感するとともに、地域と連携した取り組みが何より重要であることに改めて気付かされているところです。

また、七里岩の台上に立ちますと、かつて土地改良事務所に勤務した折、新府地区の県営農道整備に携わったことが思い出されます。四方には、世界遺産富士山をはじめ甲斐駒ヶ岳鳳凰三山、八ヶ岳、茅ヶ岳などの山々を望むことができ、桃の花の時期はまさに天空の桃源郷ですが、今、さらに北の穴山の地に来てみると、昔習った漢詩「游山西村」の一節「山重水複疑無路 柳暗花明又一村 簫鼓追随春社近 衣冠簡朴古風存」が思い浮かびます。「山また山川また川で、道が行き止まりかと思うと、思いがけず濃緑色の柳が茂り、花が明るく咲き誇る村がまた一つ。笛や太鼓が聞こえてきて、春の祭りは近い。村人の姿は素朴で古き良き時代が残っている。」と訳されています。

穴山町では、日本桜の会と連動した桜の普及活動やヒガンバナによる花の谷造り運動など、美しい景観づくりの取り組みが行われるとともに、春の桜まつりや秋の福祉と文化祭りなど、様々な文化活動が年間を通じて住民一体となって進められています。また、この詩には、「たとえ今先が見えなくても、努力すれば必ず新たな境地が開ける。」との意も含まれていることから、当地への赴任は、私にとってまさに「柳暗花明又一村」の心境です。

繰り返しになりますが、福祉施設を運営していくうえでは、地域社会との連携が何より大切です。「穴山の里」は、これまでも一体感ある地域のまとまりの中に身を寄せさせていただき、併せて文化の息吹を吹き込んでいただいていたと伺っています。「美しい調和」を意味する令和の時代を迎え、地元穴山町、韮崎市をはじめ地域社会との結びつきをこれまで以上に強め、さらに地域に溶け込めるような施設運営に努めてまいりますので、一層のご理解とご協力を賜りますようお願いして、就任のあいさつとさせていただきます。



本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

- 開催日： 理事会：令和元年5月25日（土）
評議員会：令和元年6月8日（土）
開催場所： 穴山の杜 会議室
審議事項： 第1号議案 平成30年前年度事業報告について
第2号議案 平成30年度決算報告について
第3号議案 監事監査報告について
第4号議案 役員の改正について



年号も令和になり、初めての定期理事会及び評議員会となりました。今回は年度決算となりますので上記議案に対して、まず理事会における承認を得たうえで、評議員会に諮り、承認いただく手順となります。審議概要としては、いくつか質疑等ございましたが、提案通り可決承認いただきました。

特記事項として、事業内容としてはほぼ計画通りに進捗し、決算につきましては、各事業所とも予算を超過達成し、収支とも良い結果となり監事監査でも問題ないことを確認いたしました。役員改正につきましては、谷戸評議員が退任し、新たに飯田春彦評議員（韮崎高校校長）が選任されました。今年度理事会役員の改選時期でもありましたが、理事・監事とも留任の推薦書を提示し、各役員とも評議員よりご承認いただきました。

研修会報告

★新規採用者フォローアップ研修会

4月1日採用者に対する三ヶ月経過後のフォローアップ研修会を実施致しました。

高校を卒業後、社会人へ立場を変えた職員の皆さんです。日常的な業務になれてきたものの専門性の多い業務での悩みも出始めています。悩みを共有し、解決に向けての方向性のアドバイスなど充実した研修会が実施できました。



現況レポート作成

★リーダー研修会

4月1日における新たにリーダーを任命された職員を対象に役職者研修会を開催致しました。

一昨年から実施している研修会に参加しているリーダー達に追いつくよう内容を濃くして取り組みました。全施設のリーダーが同じ意識で今後の信和会の運営が進むように今後も年内数回に分けて開催致します。

花植えイベント開催！



6月21日梅雨の合間、天候に恵まれヨシガーデン難波様のご協力も得て、花植えを行いました。

カリブラコア、ジーニアなどプランターや壁掛けに植え込みました。

わ〜く、ショート、里の利用者様、職員合わせて20名以上参加して、土に触れる喜びや楽しさを感じていただけたかと思います。



わ〜くとショートの間のフェンスや施設前に飾っておりますので皆様もぜひ見に来てください。

穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 5164
TEL0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



社会福祉施設 初任者研修

支援部 網倉 真由

5月28日に山梨県社会福祉協議会主催の「社会福祉施設初任者研修」に参加しました。午前は塚田好子先生の講義を受け、生活支援に必要な基本的視点や福祉サービスの理念について教えていただきました。特に、「利用者のコミュニケーション」は言語7%、非言語93%で、ほとんどが非言語によるコミュニケーションのため、利用者への「言葉以外からの気づき」の大切さを学びました。

午後は土橋久忠先生から、人とのつながりや自分自身を知るための講義を受け、その中で、「啐啄同時（そったくどうじ）」という言葉を知り、人の成長にとって周りからの時宜を得た刺激がいかに大切かということを改めて学びました。

今回の研修で学んだことを今後の支援に役立てられるように、まずは自分の考えや疑問に思ったことをしっかりと相手に伝え、啐啄同時が図れるような相互に響き合うコミュニケーションを築いていきたいと思えます。



特集コラム 強度行動障害支援について(第2回)

なぜ困った行動は生じるのか？ 困った行動の中には、体験を経る中で“学習”し獲得されたものがあります。頭突きをすれば自分が嫌だと思える状況を回避できると“学習”した利用者さんがいました。そこで、頭突きをしないようにするにはどのように支援すれば良いのか探るため、普段の生活の中で本人の好きなことや得意なことは何か、どのような状況になれば頭突きをするのか観察しました。結果を踏まえ、活動を頑張った後には好きなボール遊びをしたり、好きなお菓子を提供するなど、職員間で統一した支援を行いました。その後、頭突きをすることは少なくなってきましたが、学習された問題行動を他の行動に置き換えるには時間が掛かります。今後も、様々な方法を検討し統一した支援を続けていきます。

地域交流センター鳳凰会館地鎮祭 交通安全表彰

4月15日 「信和会地域交流センター鳳凰会館」の地鎮祭が行われました。強い風が吹く中、多くのご来賓の方々をお招きし、理事長による鉄入れの儀、新施設長等による玉串奉奠など一連の神事が荘厳な雰囲気の中、滞りなく執り行われました。

現在は高さ4mにも及ぶ基礎工事が完了し、10月1日のオープンに向けて建物工事が進められています。



4月25日、穴山の里が韮崎安全運転管理者協議会から『安全運転管理優良事業所』として表彰されました。これは職員が勤務中だけではなく、平日頃から安全を心がけた運転に努めていることの成果です。

今、世間では幼い子供を含め、尊い命が奪われる悲惨な交通事故が相次いでいます。こうしたことから、今回の表彰をゴールとしてではなく、安全運転管理を通して、交通事故削減に向けた啓発活動を続けていくためのエールとして受け止めたいと思えます。

ハナミズキ祭り出店

4月20日 甲府市朝日町で開催された『ハナミズキ祭り』のフリーマーケットに出店し、利用者3名と職員2名とで参加してきました。

利用者さんはそれぞれ役割分担をして、普段はマイペースの利用者さんも、大きな声で自分たちが作った野菜のアピールをしたり、売れた野菜をすばやく袋に入れて渡し、大きな声で「ありがとうございました」と言えたりと、お客様への対応もスムーズに行えました。

特に、水耕栽培のお野菜は、早朝の出店準備の時からお客様が訪れ購入されるほど好評で、完売となりました。今後も利用者さんの地域移行をめざし、このような地域行事には進んで参加していきたいと思えます。



ほのぼの班外出

5月28日 ほのぼの班の利用者さんと甲斐市にある「水辺公園」に外出しました。

途中は雨でしたが、現地に着く頃には雨が上がり、気温も涼しく感じられる外出には最適の日となりました。

公園内には恐竜の滑り台があり、利用者さんも「大きいね」「誰が滑るのかな」などと、思い思いに感想を語りあっていました。昼食は公園内でお弁当を広げ、その後は散歩や談笑をしたりと、ほのぼの班らしいゆったりとした外出となりました。



利用者交流スポーツ大会

6月7日 小瀬スポーツ公園（甲府市）で開催された山梨県知的障害者支援協会主催の「利用者交流スポーツ大会」に参加してきました。雨天のため体育館内での開催になってしまいましたが、レクリエーションでは元気一杯に身体を動かし、クイズ大会では頭をたくさん使い、またスポーツチャンバラなど新しいスポーツにも挑戦し、笑顔で楽しい一日を過ごすことができました。



歯の刷掃指導について

今年も山梨県歯科衛生専門学校3年生による『刷掃指導』が6月20日と27日に行われました。穴山の里とわ〜く穴山の里利用者40名が、学生さんから1対1で、歯ブラシの持ち方や磨き方、磨き残しなどについてチェックを受けました。また、歯科医師の指導のもと、歯垢や歯石、虫歯の有無を診てもらい、フッ素塗布もしていただきました。

指導の最後には、「良くできたで賞」の金メダルを首にかけてもらい、利用者さんは皆、口腔内のさっぱり感とともに満足感溢れる笑顔を見せていました。また、利用者さん個々にいただいたご指導は、担当職員にとっても今後の支援に繋がる良い機会になりました。

学生さんはじめ関係の皆様、本当にありがとうございました。



縄文ヒガンバナ定植活動



5月12日 穴山の里施設前「花の谷」にて、地元の「緑と大地の会」が主催する『縄文プロジェクト2019』のヒガンバナの球根植え付け作業に、利用者さんと職員とで参加しました。地域の方々や東京都新宿区上落合東部町会の皆さんと交流し、楽しく植え付け作業を行いました。とても暑い日でしたが、ヒガンバナがしっかりと根付いて綺麗に咲くようにと、一生懸命作業を行いました。「花の谷」に綺麗なヒガンバナが咲く、穴山の秋を楽しみに待ちたいと思います。

尺八と箏の夕べ

6月15日 穴山町ふれあいホールで行われた「尺八と箏の夕べ」を聴きに行きました。今年は尺八だけではなく箏の演奏も加わり、とても優雅で心が和む音色を楽しみました。



曲と曲の間には、これから演奏する曲の歴史などの説明も入り、知識も深まる演奏会となっていました。利用者さんたちも静かに集中して聴いていました。

皆さん、素敵な演奏をありがとうございました。

愛生幼稚園児交流会

6月18日 穴山の杜芝生広場にて、葦崎愛生幼稚園児との交流会を行いました。

レクリエーションでは、トンネル潜りリレーや背負いかゴ玉入れ、ボール渡しリレーなどを行ない、元気いっぱいの園児さんに負けないよう、利用者さんもエンジン全開で身体を動かしていました。

天候は夏の暑さを感じる程の快晴でしたが、更生保護女性会穴山支部の皆さんのご協力もいただき、最後まで笑顔の絶えない交流会となりました。

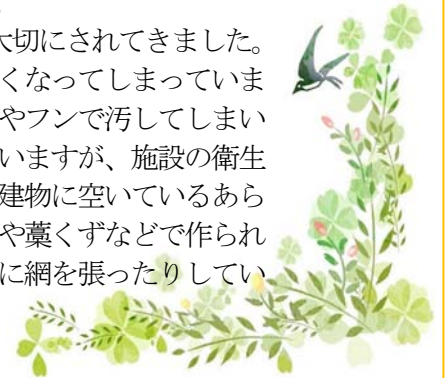


穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



毎年、春から梅雨の時期になると、ツバメが施設の壁や軒下に巣を作り始めます。昔からツバメが巣を作ると縁起がいいと言われていて、家の中に堂々と巣を作り大切にされてきました。しかし、最近の建築様式の変化で、一般の家の軒先や家の中での巣作りが出来なくなってしまっています。行き場を失ったツバメたちが穴山の杜の建物のあちらこちらに巣を作り、泥やフンで汚してしまい閉口しています。ツバメは稲の害虫を食べてくれる益鳥として大事にされてきていますが、施設の衛生面もあり心を鬼にして防鳥網を設置しました。また、ツバメに劣らずスズメ達も建物に空いているあらゆる排気口などに巣を作っています。ツバメの巣は泥ですが、スズメは枯れた草や藁くずなどで作られますので、万が一火災の原因などにならないか心配されます。対策として換気口に網を張ったりしています。行き場を失ったツバメやスズメ達が不憫ですが・・・。



ご参加ありがとうございました

生活相談員 河内摩衣

6月23日(日)入居者ご家族による環境整備を実施致しました。お忙しいところ、大変多くのご家族に参加して頂き、居室内・ユニット内の清掃・衣替えや衣類の点検等を行うことが出来ました。本当にありがとうございました。ご家族に、普段の生活の場や衣類を、よく見て頂く事が出来る機会であり、職員がゆっくりとお話をさせて頂ける機会と考えています。次回は、秋頃に予定しています。

※多くのタオル・雑巾を寄付して頂きました。ご理解ご協力を頂き、ありがとうございました。



喀痰吸引研修

入居者の高齢化が進むことにより、嚥下能力の低下による、咽や痰の詰まりによる事故が懸念されます。この症状に対処するためには、専門的な知識と技能が必要です。今回、当施設を研修場所として喀痰吸引の基本研修を実施し当施設から4名の受講者が参加しました。研修内容は以下のとおりです。

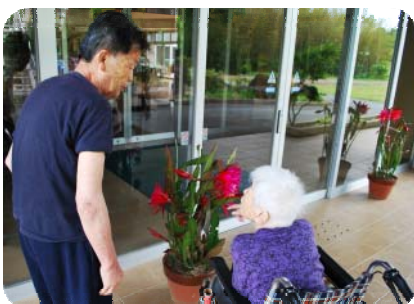
- 基本研修(講義) 1日8時間 × 8日間 合計64時間
- 基本研修(演習) 口腔内の喀痰吸引 1日に4回以上
- 実地研修 口腔内の喀痰吸引 10回以上

指定された病院において実際に患者を対象とした実地研修を行います。

これらの全ての項目を指定された時間、回数を受講し技能検定に合格することが、喀痰吸引の処置が可能となる条件になります。入居者様に安心な介護を提供するために、更に喀痰吸引の有資格者を増やしてまいります。

咲きました！

クジャクサボテンの大きな花が咲きました。ご利用者や来設される方々より「すごい花じゃん!」「迫力あるね!」など声が聞かれました。施設の皆様で観賞していただきと地域の老人会の会長をされている島津徹雄様のご厚意により、玄関に飾らせていただきました。島津様からは毎年季節の花を届けていただき、楽しませていただいております。ありがとうございました!



6月19日喫茶が開店しました。外は曇りでしたが、飾られた多くのお花を見ながら、餡子クリームパンケーキと挽き立てコーヒーをいただきました。「どっからきたで〜」と他ユニットの方に声をかけたり、「こういうのまたまにはいいですね」と職員と会話されたりとそれぞれ楽しまれている様子でした。

喫茶店



5月21日人生の先輩方へ感謝の会「ありがとうコンサート」と銘打って、韮崎市文化協会民謡部韮崎民謡会の方々が、日本の民謡を披露してくださいました。澤田司玉先生の三味線の伴奏に合わせた、民謡独特の節回しが心に響きました。また馴染みの曲ではご利用者も手拍子を打ったり、また口ずさんで歌う姿もみられ楽しい会となりました。

4月22日 田富町・韮崎市を中心に活動されている初花会・松山会の皆さんが慰問に来て下さり、マジックや日本舞踊を披露されました。マジックではスカーフが花になったり、カラフルな傘も飛び出し、「健康第一」と文字が張ってあったりと普段見ない光景に圧倒されている様子でした。日本舞踊は豪華な着物衣装で迫力ある舞を堪能し、武田節では口ずさむ方もいました。

お楽しみ会



4月16日 深澤様が代表を務めるアンサンブルリベカのみなさま9名が慰問に来てくれました。春の小川から始まり、春の歌メドレー、また手話を交えて四季の歌など、楽しいおしゃべりと美しい歌声を聴かせてくださいました。ご利用者も一緒に歌を口ずさみとても楽しい会となりました。

4月24日・5月8日・6月12日にロバとうさぎの会にボランティアで来ていただきました。季節にちなんだ童謡、唱歌から演歌と幅広い選曲で、ご利用者の皆様を楽しませて下さいます。簡単な体操もリズムに合わせて行いますが、普段静かな方が手足を動かしている様子は職員にとって驚きであり、喜びです。



食中毒 予防

食中毒の研修を実施しました。給食委託業者の衛生管理課の方を招き、食中毒の種類や特徴、発生事例、予防策などを教えていただきました。食中毒の予防：食品中の細菌をコントロールするには①つけない②増やさない③殺す、3つの原則を守る事が大事となります。細菌の増殖には時間と温度が大きく関係している為、管理が必要となります。座学後、嘔吐物処理の研修も行いました。実際にやってみる事で、慌てる事なく安全に処理を行える事を目指しております。今後も、予防に努めてまいります。食中毒は、家庭でも起こり得る事なので、食品の傷みも早い時期でもある為、注意していきましょう。

安全衛生委員会

～名言・名句から学ぶ～ 疑うがゆえに知り 知るがゆえに疑う

【解釈】疑問を持つことから始めよう

【心得】目の前のことを当たり前として見ていては、そこに新たな発見はない
疑うことは、学ぶ上で大切な姿勢なのだ

わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



ご存知でしたか!?

生活介護リーダー 大和 恵子

今回は、生活介護事業のお話です。

13名の生活介護のメンバーは、最高齢77歳の方を筆頭には平成生まれの20代までの男性10名女性3名が在籍しています。日中は機能訓練の一環として就労Bの利用者様と一緒に作業を行い、工賃向上へ一役買っています!!

もちろんお給料もいただいています!!中には毎月のお給料から自分の好みのCDを購入することを楽しみにしている利用者様もいます。「いっぱい働いて、お金を貯めて、穴山にコンビニを建てたい」と大きな夢を語ってくれる方もいます。

余暇活動は外部講師にご協力いただき、月2回の総合型スポーツ・月1回の習字教室、それ以外に創作活動や周辺散策等を月2〜4回実施しています。創作活動の作品については穴山駅の掲示板や穴山郵便局に展示させていただいております。

お時間のある時には是非ご覧になって下さい。

地域の方との「ふれあい」を大切にしながら元気に挨拶が出来ること、困った時に相談が出来ることなど、日々の生活につながる力を身に付けられるように、利用者様に寄り添った支援をしてまいりたいと思います。



穴山トンネルを
散策しました♪
気持ちよかったです〜



創作活動の作品は
穴山駅掲示板に
絶賛展示中!!
ぜひご覧ください☆彡



共同生活事業所

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866



共同生活事業所って?

共同生活事業所 サービス管理責任者 秋山 由加

共同生活事業所はどんな事業所だと思いますか? 簡単にお話しします。

共同生活事業所は、少人数の住まい(ケアホーム1棟・グループホーム4棟)で共同生活を行いながら地域の中で自立した社会生活を営む場としてサービスを提供しています。

ごく普通の地域生活を送ることで、より完全な自立に向けて経験を重ねています。

日中は利用者24名全員がわ〜く穴山の里に通所し、帰宅後は一般家庭と同じような生活をしています。休日は買い物外出、地域行事をはじめ積極的に色々なイベントへ参加をしております。またボランティアのご協力をいただき下記のような余暇活動も行っています。

今回はあなやまハイツの施設紹介をします。女性6名で和気あいあい(?)、6人寄せばかましすぎる(笑)、世話人の見守りのもと当番をこなし協力体制も万全(!?), そんな賑やかなグループホームです。
※写真は利用者様の食事風景・お部屋を載せました。



GW音楽イベント (4/30・5/2)

GW期間を利用して、2組の音楽ボランティアの方にお越しいただき生演奏を聴かせていただきました。皆さんの知っている歌や参加型のコンサートであったため、親近感が沸き笑顔満載の時間となりました。一日目の昼食はみんなで作ったカレーを、二日目には10台のホットプレートで焼肉パーティーとなりました。同時にグループホーム世話人さんによる朗読、カラオケ大会、駄菓子屋さんもオープンしてお祭り気分を味わいました。



穴山の杜シヨート

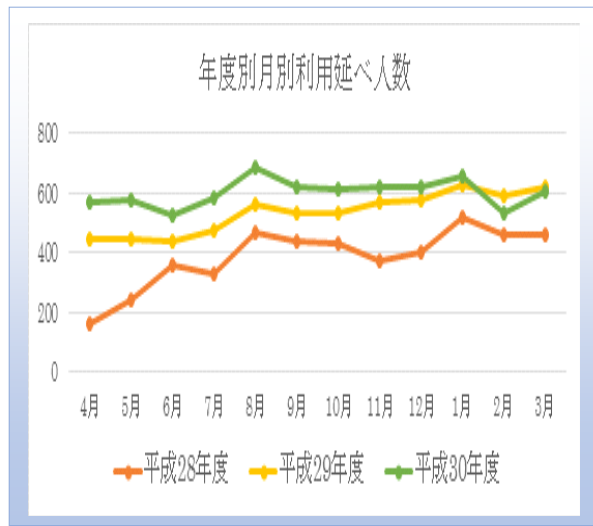
穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 菟崎市穴山町 4410-3
TEL: 0551-25-0800



3年間の利用の動向

平成28年4月に開所し、平成31年3月で丸3年が経過しました。そこで実際利用を確認してみると、年間利用延べ人数が開所年度は4,662人だったものが、平成29年度には6,427人、平成30年度には7,224人と徐々に利用も増え（右グラフ参照。利用開始終了で人数の重複あり）、1日の平均利用人数は、平成28年度が12.8人、平成29年度が17.6人、平成30年度が19.8人とほぼ3年で満床に近い形で利用がありました。利用者の平均介護度をみると、要介護3の利用が最も多く、平成30年度でいうと延べ人数の約半数以上3,907人となっていました。

在宅生活を支えていく上で自宅が一番とはいえ、このような宿泊できる施設も重要な役割の一つとなっていることを改めて感じることができました。これからも地域のニーズに応え、皆様から頼られる施設になっていきたいと考えております。



おやつしゅ

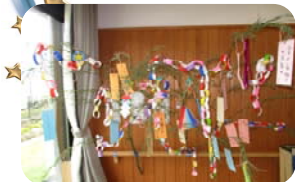


5月28日和風パフェを作りました。黒みつ・黄粉・葛餅で飾り付けました。連日暑い日が続いていたので、冷たいアイスクリームに『美味しい!』と大喜びでした。次回はかき氷のリクエストもありました・・・。

6月26日新ジャガを使って芋餅を作りました。今回は皮剥きから海苔巻きまで、すべて利用者様が行いました。『久しぶりにジャガ芋の皮を剥いたわ』『よく子供に作ったよ』など会話も弾みました。チーズと海苔の香ばしい匂いで、美味しさが一層増しました!!



七夕



7月1日に七夕の飾り付けをしました。願い事が天まで届きますように・・・★

オカリナ演奏

7月4日中田町オカリナの会の皆様が慰問に見えました。『水戸黄門』『海』『七夕』の演奏や『ウサギとカメ』の曲で利用者様と一緒に体操されるなど、オカリナの音色に癒されながら楽しい時間を過ごしました♪



はり絵

甲斐駒ヶ岳と大賀の蓮池の貼り絵を作成し、施設前のフェンスに展示しました。新聞広告をちぎり、貼り付けました。独特の風合いと立体感は奥深い趣と魅力が出ていると思います。



感謝録

(平成31年3月16日から令和1年6月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

穴山の里保護者会・石原文世・内藤まゆみ・石澤應彦
岩下幸夫

～ご協力を頂きました～ (敬称略)

☆ボランティア

阿部光雄 (歌謡)・島津泰子、島津公子、嶋津良子、森岡節子、西山千代子、堀井敬子 (歌謡協力)・足立悦子 (ピアノ演奏)・田中康子 (絵画指導)・飯野祐子 (習字講師)・千野公洋 (太鼓指導)・平山純治 (ボランティア音楽隊、TNCサーカス)・清水久美江・清水優斗・アンサンブルリベカ・初花会・松山会・ロバとうさぎの会・蕪崎市文化協会民謡部

訪問録

(平成31年3月16日から令和1年6月15日)

☆体験実習 (敬称略)

◎かえで支援学校

田草川太貴

◎桃花台学園

中村 駿之介

☆職場体験 (敬称略)

◎蕪崎西中学校 (3名)

☆施設見学 (敬称略)

◎特別養護老人ホーム富士山荘 (6名)

◎穴山更生保護女性会

◎やさしい手蕪崎 (2名)

今年もアツい夏がやってきます



夏祭り

8月4日 (日)

午後5時～ 穴山の杜芝生広場

<p>催し物</p> <p>穴山の里太鼓</p> <p>利用者・職員による発表</p> <p>クラダンス・ミニコンサート</p> <p>◎ヨーヨー釣りや</p> <p>輪投げも開催</p> <p>◎間近でご覧いただける</p> <p>恒例花火大会も開催</p>	<p>屋台村</p> <p>焼きそば・</p> <p>ホルモン菓子・</p> <p>焼き鳥</p> <p>フライドポテト</p> <p>フランクフルト</p> <p>各種飲み物 etc</p> <p>◎数に限りがございます。</p> <p>持ち帰りはご遠慮下さい</p>
--	---

社会福祉法人信和会夏祭り実行委員会 TEL0551-25-6100

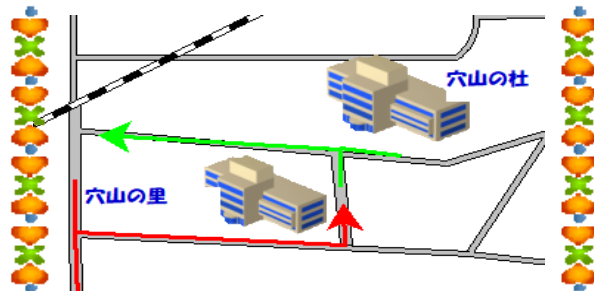
今年も恒例の地域ふれあい夏まつりを開催いたします。

各事業所の利用者・職員一丸となって催し物の練習を重ねています。

皆さん、お誘い合わせの上御来場下さい。

～自主交通規制のご連絡～

お祭り当日は交通緩和のため敷地内一方通行とさせていただきます。また、穴山の里では建物建築工事を行っており駐車スペース並びに通路が狭くなっておりますので十分ご注意願いますと共に駐車場担当職員の指示にご協力願います。



本部だよりの蒔蕪の花は4年以上育てないと花をつけません。食べる蒔蕪からは、想像も出来ない個人的な色・形・香り。何事も最初の3年間は身を肥やす貴重な期間であり、その間に貯めた経験値が後に咲かせる自分自身の個性を輝かせるのだと思います。

(M・O)

編集後記